

地域のまちづくりに参加する学生たち



全国規模の会議もユニークな企画で開催 山梨県 早川町



現地で生活しながら地域を研究 そして実践活動で支援



まちの人びとに溶け込んで いっしょになってのまちづくり論議

自然資源であったり、山といった誇りに
足る風景であったりする、それが大切な
のですよ。まちづくり、地域づくりは一
般解ではなく、特殊解だと思います。

野見山 山といえば、私どもの事業地区
でも、東北の盛岡なら岩手山、山形なら
蔵王と、すぐにまちに結びつく風景があ
りますね。浜さんは歳月が積み重なった
美しいまちをよく歩かれるのでしようと
私たちがUR都市機構のつくったまちはま
だ50年の歴史です。追いつくまでには、
まだ時間がかかりますね。

浜 たしかに積み重ねは大きいものがあ
ります。けれども今日のようなお話が交
わせるというのも大へんな発展と思いま
す。10年前はハードハードで議論になり
ませんでした。これも国民のなかにソフ
トこそ大切という意識が生まれてきたか
らで、30年前にまちづくりや村おこしを
真剣にはじめた芽がようやく伸びはじめ
たということでしょうね。まちづくりは

最低10年、15年かかるのに、日本人は
どうも気短かです。家だつて二代三代で
みがかれて立派で美しい表情を持つもの
なのに、住宅ローンは一代で組んでしま
います(笑)。急がないで何代にもわたっ
て完成させていくという仕組みをそるそ
る考えていただきたいですね。

戸沼 同感です。みんな経済価値になっ
てしまつて、スローであるべきものがス
ピードこそよし、となつていきます。

地域の風土と
文化をいかしたまちづくり

野見山 いま、浜さんは箱根にお住まい
ですね。

浜 私は子どもを自然の中で育てたいと
考えておりまして、当時は古い民家がど
んどん壊されていて悲しく思つていたの
ですね。その頃は時代に逆行している感

ぜ暖炉ではなくいろりかと問われる、い
ろりは四角くて、ここが「とぎ」で主
人の座る場所、ここが「かかざ」で妻が
台所へ行き来しやすい場所などと教えま



浜さん宅 いろりの間 (神奈川県・箱根町)

じでしたが、イギリスと
かオーストリアの村々の
頑丈な古い民家と身の丈
にあった質素な暮らしが
日本にも求められる時代
が必ずくると信じていま
した。燃やしたくないの
で引きとつて欲しいとい
うお話があつて、合計
12軒のお宅をわけていた
だいて今の家ができた
です。その後30年もの間
12軒の家族の歴史からた
くさんのことを学ばせて
いただきましたね。日本
の暖はいろりからとりま
すね。外国人がくるとな
るには四角くて、ここが

戸沼 戦後、人口が7千万人から1億2
千万人まで急速に伸びる過程で、当時の
住宅公団は都市部の住宅に困窮する勤労
者のために大量の住宅を供給したのです。
私はずっと公団の団地暮らしで、学生の
時の本棚を倒したのがベッドなんですよ。
棺桶ぐらゐの大きさ(笑)。逆にホテルの
スイートルームの大きなベッドでは眠れ
ないのだけれど、外国の学生が来ると、
なんで大学教授が団地に住んでこんなベ
ッドに寝ているのって驚く笑。私は「住
」については「方丈の庵」派なんです。当
時は量の供給が優先したから大量の団地
も必要だったのですが、これからは多様
なライフスタイルを含んだ住の問題が国
づくりの「もと」なのでしょうね。

野見山 UR都市機構は住宅公団以来い
ろいろな住まい方の提案をしています。



広大なキャンパスを有する広島大学 (広島県 賀茂学園都市)



時代の最重要課題をテーマとした鳥取環境大学 (鳥取県 鳥取新都市)



都市形成をリード いわき明星大学 (福島県 いわきニュータウン)



都市景観大賞受賞

サザンクロスプロムナード (福島県 いわきニュータウン)



「八戸市まちの景観賞」を受賞したまちなみ (青森県 八戸新都市)



憩いとふれあいのあるまちなみ (新潟県 長岡ニュータウン)

わたる地域づくりの提案をUR都市機構
がしていくべきでしょうね。それだけの
ノウハウは十分あるし、結果キメ細かい
プロデュースもできるはずですよ。さまざ
まな財政上のリスクも伴うでしょうがね。

もありです。都市公団と地域公団が統合
し、全都道府県とはいきませんが、全国
で実績を挙げています。大都市に住んで
いる方のUターンエターンの受け皿とな
り得るまちも多いと思います。地方公共
団体と一緒にくり上げたまちの魅力をも
評価し、私どもに期待していただける市
町村に、直接事業を行うことは厳しい地
区であっても、何かお手伝いできること
はないか、努力を続けてみたいと思いま

き声もそれがあたりまえ、お年寄りのみ
んで助けてあたりまえというコミュニ
ティがないといけません。

野見山 UR都市機構としては大都市も
そうですが、地方都市を含む地域の生活
づくりには、これまでのノウハウの蓄積を
発揮して、地元の方々、行政のみならず
ともにプロデュースという役割を懸命に
果たしていきたいと思えます。

戸沼 18歳人口は減少していますから、
社会人向けの生涯学習的なラーニングセ
ンター機能、そして観光と学習のセット
の可能性、外国人の居住も容易といった
ことが大学進出の条件となります。これ
からはアジアとの共生という戦略的な視
点も欠かせません。大学の立脚点を、住
の立場から、そして先ほどのお話のいろり
のような、日本の文化というソフトでも
支えるという姿勢の提案ですね。早稲田
の本庄キャンパスはそれを狙っています。

浜 時代時代にその時の背景と夢があり、
それは当然変化するわけです。住まい方
も単に家族が住むというだけでなく近隣
の方、そして外からみえる学生や外国人
も含めてどう共生していくかが大切だす
ね。長崎県の大島町、今は西海市になり
ましたが、そこでは町民みんなで考えて
ある施設の四角い建物に三角の屋根をつ
けたのです。それだけでかわいいといっ
て学生が集まつて住むようになりまし
た。知恵を出せば活力を生むのにそんなお
金はかからない、炭坑も造船も産業は振
興していませんが、農村アメニティで入
賞して元気が出はじめました。暮らしや
すさをつくっていくには、赤ちゃんの泣

浜 私たちの上の世代は長い間土地に縛
られてきたと思います。けれどもこれか
らは住み替えていくという発想も必要で
しょうね。私のイギリスの知り合いは田
舎に住んでいます、子どもを育てる時
は大きな家に住む、子どもが巣立つた
ら小さな家に移る、老後は病院のそばで安
心して暮らすということをやっています。
こういうライフスタイルがもっと提唱さ
れていい。そう言いながら私は伝統や歴
史や風土が大事だと思っています(笑)、
矛盾もするのですが、それを踏まえた上
で、若い人たちといっしょに魅力ある地
域づくりをする、私はこれが確かで重要
なことだと常々考えています。

